

無料クーポン券でがん検診がお得

市では、働き盛り年代の方のがん対策として、**50・55・60・65・70・75歳**の節目年齢の方へ、**胃・大腸・肺がん検診**が無料となるGO!5・0!がん検診無料クーポン券を発行しています。
また、女性のがん対策として、**21・26・31・36・41歳**となる方へ**子宮がん検診**、**41・46・51・56・61歳**となる方へ**乳がん検診**の無料クーポン券を発行し、受診しやすい環境づくりに努めています。

職場や人間ドックなどで、がん検診を受けていない方は、市のがん検診をご利用ください

検診種類	対象者	検診の内容	自己負担金 (70歳以上は無料)
胃がん	40歳以上の男女	集団 バリウムによるレントゲン検査	集団 500円
		医療 バリウムによるレントゲン検査と胃内視鏡(胃カメラ)検査のいずれか	医療 2,000円 (バリウム、胃カメラともに)
肺がん	40歳以上の男女	胸部レントゲン検査、必要に応じ喀痰検査	集団 レントゲンのみ無料 レントゲンと喀痰 200円 医療 レントゲンのみ 300円 レントゲンと喀痰 500円
大腸がん		便潜血反応検査(2日法)	集団・医療ともに 200円
乳がん(★)	40歳以上の女性	視触診およびマンモグラフィー(レントゲン)	集団・医療ともに 500円
子宮がん(★)	20歳以上の女性	集団 頸部細胞診 医療 頸部細胞診、必要に応じ体部細胞診	集団 500円 医療 頸部 1,000円 頸体部 1,500円

★印は2年に1度の検診です。受診券は年度で偶数年齢に到達される方に郵送しています。

がん検診、特定健診の受診期限がせまっています

健康センターを会場として実施する集団検診と指定医療機関で受診する方法があります。
集団検診は**12月4日(水)**が今年度最後です。(詳しくは16ページへ)
医療機関での検診は**12月末**までです。
お早目にお忘れなく!!

問合せ先
市民健康センター(☎475-8011)

特定健診も合わせて受けましょう

特定健診はメタボリックシンドロームに着目した健診です。
動脈硬化を進行させる高血圧・高脂血症・糖尿病などの生活習慣病の芽を早期発見・早期治療をすることで心筋梗塞や脳卒中を予防することができます。
がん検診と合わせて受けることでさらに安心です。

国民健康保険加入者の方には、黄色の封筒で健診受診券を郵送しています。

がん検診、受けていますか？

日本人の死因の第1位はがん。2人に1人ががんにかかり、3人に1人ががんで亡くなる時代です。しかし、近年の診断や治療技術が進み、早期に発見し適切な医療を受けることで、亡くなる方を減らせることができるようになってきました。
がんから自分の身を守るために、そしてあなたの大切な家族を守るためにがん検診を受けましょう。

富山県では、50歳代の4割、60歳代の5割ががんで亡くなっています。
滑川市の年代別がん死亡数(H18~22年累計)では、男性は、50歳代が肺がん、60歳代以降は胃がん・肺がんに加え、大腸がんが多くなっています。女性は、30歳代が乳がん、50歳代が胃がんと大腸がん、60歳代以降は胃がん、大腸がんに加え、肺がんが多くなっています。

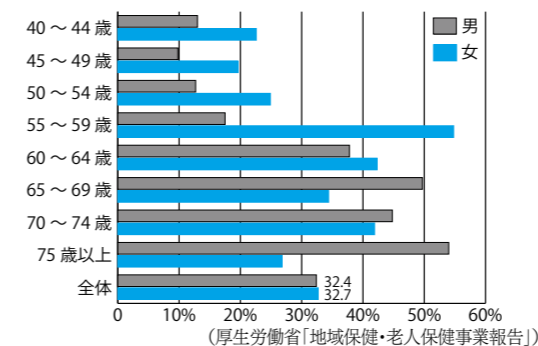
滑川市の年代別部位別がん死亡数(H18~22年累計)

男	食道	胃	大腸	肝	膵	肺	前立腺	その他	計	女	食道	胃	大腸	肝	膵	肺	乳	子宮	その他	計
総数	14	59	36	32	18	63	9	58	289	総数	2	37	31	29	20	16	13	4	58	210
80以上	1	15	11	9	2	21	6	21	86	80以上	0	22	15	14	6	8	6	1	35	107
70代	9	24	16	17	7	24	3	22	122	70代	1	5	8	12	10	4	2	0	10	52
60代	2	15	7	5	7	11	0	8	55	60代	0	6	5	3	4	4	0	2	7	31
50代	2	3	1	0	1	6	0	3	16	50代	1	3	2	0	0	0	2	0	5	13
40代	0	2	1	1	1	0	0	4	9	40代	0	1	1	0	0	0	1	1	1	5
~39	0	0	0	0	0	1	0	0	1	~39	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2

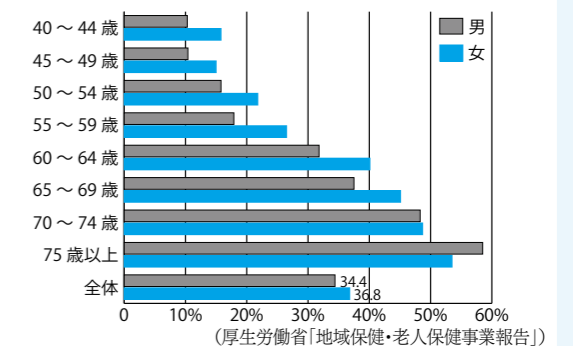
(人口動態統計)

一方、滑川市の年代別の各種がん検診受診率は、働き盛りの40歳代・50歳代の受診率が低い現状であり、全体でも国が目標としている50%には達していません。

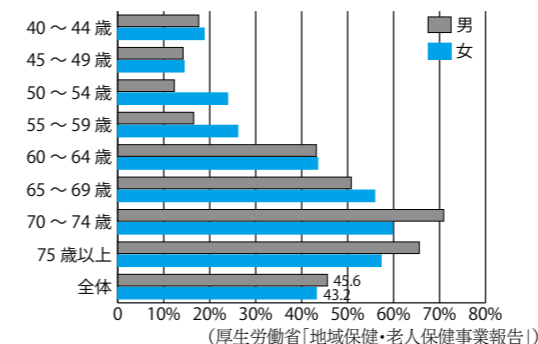
胃がん検診年代別受診率(H23年)



大腸がん検診年代別受診率(H23年)



肺がん検診年代別受診率(H23年)



健やかな人生のために
働き盛りの年代こそ、
がん検診を受けナイト!!
1年に1回、自分の体
と向き合きましょう。
がん検診はみなさんの
命を救います。

